

信州から世界へ広がる黒曜石研究の最前線

期日：2018年10月27日(土) 10時20分～16時，受付開始9時30分

会場：長野県立歴史館 講堂

聴講料：観覧料300円(講座＋常設展)か

観覧料500円(講座＋常設展＋企画展)が必要です

事前申込：不要

<プログラム>

10:20 - 10:30 眞島英壽：主旨説明

10:30 - 11:00 小野昭：日本の黒曜石研究：個別事例を世界の議論にどう載せるか？

11:00 - 12:00 Malko Andres (特別講演)：Obsidian exploitation and circulation in the prehistoric Hungary (通訳：島田和高)

明治大学国際交流基金事業招へい研究者として来日中の Malko Andres ハンガリー国立博物館研究員に、ハンガリーにおける先史時代の黒曜石採掘と流通について、最新の研究状況を講演していただきます。

(昼食)

13:00 - 13:30 村田弘之：星糞峠黒曜石原産地遺跡にみる縄文時代の黒曜石採掘活動について

13:30 - 14:00 宮坂 清：縄文オブンディアン・ラッシュの鉦山と採掘された黒曜石

14:00 - 14:30 島田和高：旧石器時代人はどこで黒曜石を拾い集めたか：中部高地広原遺跡群発掘の成果から

14:30 - 15:00 須藤隆司：男女倉遺跡群における旧石器黒曜石獲得と原産地の行動系

15:00 - 15:30 池谷信之：草創期後葉黒曜石製尖頭器の製作と運用

－大鹿窪遺跡と葛原沢第IV遺跡の黒曜石原産地推定から－

15:30 - 16:00 眞島英壽：黒曜石分析：国際化への課題

